

2012年
1月15日発行
第63号

北九州地区労連

発行：北九州地区労働組合総連合（〒802-0071 北九州市小倉北区黄金町 1-4-9 山本ビル 207号 TEL 921-0747
ホームページアドレス http://www.geocities.jp/k_roren/ Eメールアドレス k_roren@ybb.ne.jp FAX 921-0284

激しいせめぎ合いのたたかいに
大きな共同の輪を広げていく春闘にしていきたいと思います



中山議長の
年頭挨拶

は、大震災、原発事故という「異常事態」からの復興をかけて取り組みをすすめることになりま

差・貧困のない新しい福祉国家実現への正念場の闘いとして展開できるか、激しいせめぎ合いのたたかいにもな

ります。北九州の全労働者が春闘に参加して、諸要求実現に向けて大きな共同の輪を広げていく2012春闘にしていきたいと思います。

2012年の年頭にあたりご挨拶を申し上げます。昨年は東日本大震災で多くの命・生活・職場が奪われ、福島原発事故では今なお放射線汚染が拡大しています。政府は被災地の方々が厳しい生活を強いられる稼働と増税を行なおうとしています。このような中でたたかわれる今年の春闘



の全労連の方針提起に結集して、労働者・国民の懐をあたためる賃金引き上げが今春闘の最重要課題となります。

3・11以降全国各地で原発ゼロやTPP反対の集会が取り

組まれ、幅広い年齢層、世代、さまざまな団体が参加して、予想を上回る成功をしています。

こうした労働者・国民の共同が広がる取り組みのなかで、

春闘共闘、地区労連主催

2012年新春旗開き

1月11日小倉リーセントホテルで旗開きが行われました。会場一杯の120人余の参加者でした。

来賓をはじめ参加団体の挨拶は、新しい年を迎えての力強い決意を固める場となりました。

「北九州のうたごえ」合唱団、夢限太鼓の演奏があり大いに盛り上がりました。

ポポロ労働組合

結成、新規加入

健和会の関連会社であるポポロが1月10日にポポロ労働組合を結成、地区労連加入の申請があり、幹事会で承認し、11日の旗びらきで紹介されました。上部組織は医労連です。組織人員は19人で委員長は久島 隆さんです。



ポポロ労組を紹介する
健和会労組委員長

おめでとう 新春宣伝

1月10日北九州地区春闘共闘は全国統一早朝駅前新春宣伝を行いました。門司駅前では中山議長がマイクを握り呼びかけました。

西小倉駅、黒崎駅、戸畑駅の各駅頭で行われ21人の参加者でした。

全労連・国民春闘共闘のピラを1000枚余配りしました。

雨上がり

新年明けましておめでとう御座います。地区労連参加団体や組合員の皆様方の御健勝をお祈り申し上げます。今年には主要各国(国連常任理事国のうちイギリスを除くアメリカ・ロシア・中国・フランス)におきまして選挙が行われ、指導者が変わる可能性はある。(但し中国は選挙ではなく、秋の中国共産党第18回党大会において胡錦濤総書記の後任に早くも習近平政治局常務委員が内定している。)アジアにおきましては昨年のジャスミン革命から始まったアラブの春の民主化運動によるチュニジア・エジプト・リビアの独裁政権の崩壊。また年末の北朝鮮の金正日総書記の死去にともない金正恩氏に権力が移譲され、今月14日には台湾の総統選挙も終わりました。

日本におきましても、政局の流れ如何で解散総選挙・政権交代の可能性も否定できない。

東日本大震災から十ヶ月が過ぎましたが福島第一原発事故も含めて復興への兆しは全く見えない。また円高や欧州経済危機・消費税増税やTPP参加問題など先行き不透明な要因があり予断の許されない一年となりますが、この時こそ一致団結して行かなければならないと思います。(K)

北九州地区労連(裏面)

会社は27年前の約束を守って欲しい 安川電機嘱託従業員の退職金問題



JMIU労組から旗開きでの訴え
右から久保委員長、イワキ工業 安川の仲間

JMIU安川合同支部は3社を相手に団体交渉をしています。その一つに、(株)安川電機本社の嘱託従業員が、2010年9月、27年間働いて定年退職を迎えたところ、退職手続き(退職金を含む)が余りにも杜撰で、安川合同支部に相談が寄せられました。

27年前(1983年)安川電機行橋工場で、一人の労働者が現場で急逝しました。9歳と5歳の子供をかかえる遺族の上田良子さんが途方にくれている時、安川電機から「安川で働かないか」との誘いを受け、地元中小企業の正社員で働いていた彼女は、両親と相談し転職することになりました。当時安川電機の総務課長は「嘱託」として採用し「労働条件は社員と同じです」と約束しました。

彼女は総務課長に組合加入を申請しましたが「前例がない」と断られました。安川電機はユニオンショップ制で正社員は組合員であり、嘱託・パート

などの非正規労働者は未組織になっています。

しかし「正社員と同じ」という約束は、口約束にしろ、上田さんの要求を認め認知したに等しい。

その後「嘱託」社員であったにしても、行橋から小倉事業所への配転、関連会社の転籍や、居住地の行橋から北九州八幡西区青山にある(株)安川情報システム本社への転勤にも応じ、27年間身分差別にも負けず正社員以上に働いてきたのです。

ところが退職に際し、退職手続きの説明をしないばかりか、「お伺い書」をたてても対応しませんでした。

会社が回答したのは退職の1ヶ月前、「退職金は内規で決められている」として低額の退職金額を支給しました。「計算式は教えられない」と計算式の説明も受けられないままでした。

27年間の労苦に報いる気がない冷淡な対応でした。彼女は上司に訴えたりしましたが変更に応じませんでした。その後安川合同支部に助けを求めてきたのです。

団体交渉で初めて計算式を明らかにしました。

そして「嘱託の就業規則はない」「内規は1989年に改版された。その時退職金は社員の1/2になっていた」と回答しました。彼女は入社当時内規の周知を受けていません。「社員と同じ」という言葉を信じて働いてきたわけで、「社員の1/2」は団交で初めて知りました。組合が「なぜ1/2なのか」と聞いても、会社の交渉員は「存じません」と答弁不能になりました。「内規は無効とは思わない」「嘱託は必ずしも退職金が支給されることが前提ではない」とかたくなな態度に終始しています。安川電機にコンプライアンスがあるのかと腹立たしい思いです。

嘱託やパートの労働条件のたたかいを一つ、一つ進めています。皆様のご支援をお願いします。

当面の日程

- 第16回事例検討会
1月19日(木) 18時30分 事務局
- 代表幹事会 2・10春闘共闘総会、及び学習会
1月26日(木) 18時30分 小倉北区生涯学習総合センター
- 加盟組合代表者会議
2月2日(木) 18時30分 戸畑生涯センター
- 2012年春闘共闘総会及び学習会
2月10日(金) 18時30分 小倉北区・毎日会館
- 「2012年春闘勝利」3・2一日総行動
3月2日(金) 早朝から 要請行動など
- 「さよなら原発! 3・11北九州集会」
3月11日(日) 10時~開会 三萩野公園
13時集会
15時パレード など

北九州地区労連評議員会

日時 2012年1月20日(金) 18時30分

場所 毎日会館5階会議室

最近の評議員会は参加人数が少なくなっています。委任状ではなく代議員の出席をお待ちしています。

北九州春闘共闘会議再開

昨年12月6日加盟組合代表者会議で代表幹事組合が承認されました。北九州地区労連、北九州地区国公、北九州市職労、建交労北九州支部、エフコープ生協労組、国労北九州地区本部、健和会労組、JMIU労組、毎日新聞労組、福建労北九州支部、年金者組合北九州協議会、自交総連です、この総会と学習会を左記日程の通り行います

講師 県春闘共闘連絡会 門馬事務局長